

いに至り、廃止対象5カ所のセンターを利用しているお母さん方とゆるやかなグループを作り、市長に対して署名を集めることと、それを渡す時には自分たちの考えを整理した文章を添えることを話し合いで決めました。

生まれて初めての署名活動 生まれて初めて行政に物申す動き

スタートしたのは9月10日。それからの50日間、みんな必死に動きました。初めてゆえに、政治の決定を覆すくらいの数を集められるかな？との戸惑いもありましたが、一人ひとりの

頑張りを集計すると、その数なんと「一万八百三十四人」。

長い作文を携え市長とみんなで15分間の密な話し合いを持ち、その場で市長から「再検討させてみたい」という応答を得ました。

そして、この11月11日ついに廃止が覆ったのです。

知らせを受け、涙が溢れました。

市民運動を30年経験してきた私でも、この数か月本当に大変だと思いました。全て初めてのお母さん達にとってはどんなに重かったらうと思います。勇気をもって立ち上がった皆の気持ちが届く状況に着地できて、本当に嬉しかった。

この10年、私は「応答可能性」を意識しています。たらい回しや事なかれ主義、横並びや前例踏襲など、行政や政治を酷評する言葉が山のようにある中で、政治に何が望まれている？と毎日考えています。難題に真面目に向き合い声に応える政治をこれからも広げたいと思います。

鹿児島市議会議員 のぐち英一郎

子育て支援センター廃止反対 パレード&署名運動

